

平成29年度決算の状況

平成29年度 水道事業報告書

1. 概 況

(1) 総括事項

水道事業は、給水人口の減少等による使用水量の減少に伴って、料金収入が年々減少傾向にあり、経営的には非常に厳しい状況となっています。

今年度においては、分岐負担金の増加等により、黒字とはなりましたが、営業収支では依然として営業損失を計上しており、よりいっそうの経費の削減等による経営の健全化が求められます。

水道事業の財政運営は、今後も一段と厳しいものになっていくものと想定されますが、施設の更新、耐震化を計画的・効率的に推し進め、水道事業のあるべき姿である「いつでも安全で安定した水の供給」の実現に向けてさらに取り組んでいきます。

(ア) 営 業

本年度の有収水量は、3,284,725^m（1日平均8,999^m）で、前年度と比較して18,172^m（0.6%）の減少となりました。

(イ) 建設改良（消費税及び地方消費税込み）

本年度は、施設の改良工事等に総額で105,739,180円（うち消費税及び地方消費税5,811,419円）を支出しました。

本年度に実施した主な工事は、以下のとおりです。

・西栄三丁目・南栄三丁目地内配水管改良工事(3工区)	24,034,320円
・防鹿水源地運転監視装置(松ヶ原系)更新工事	23,237,280円

(ウ) 経理の状況（消費税及び地方消費税抜き）

平成29年度の収益的収支は、収入総額 592,364,154円、支出総額 484,013,901円で、差引き 108,350,253円の純利益となりました。

当年度における収支の状況は次のとおりです。

収益的収支	収入総額	592,364,154円
(消費税及び地方消費税抜き)	支出総額	484,013,901円
	差引利益額	108,350,253円
資本的収支	収入総額	41,535,555円
(消費税及び地方消費税込み)	支出総額	150,424,098円
	差引不足額	108,888,543円

資本的収支の不足額108,888,543円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 5,797,813円、過年度分損益勘定留保資金 103,090,730円で補てんしました。

○平成29年度 工業用水道事業報告書

1. 概 況

(1) 総括事項

工業用水道事業は、旧第2期工業用水道事業の企業債償還利息や減価償却費が、収支を大きく圧迫していますが、経費の節減等に努め、今年度も利益を計上することができました。

今後も、適切な施設の維持管理を行うとともに、より一層の経費節減を図りながら経営の健全化に努めてまいります。

(ア) 営 業

本年度の有収水量（計量分）は、10,013,897m³（1日平均 27,435m³）で、前年度と比較して425,445m³（4.4%）の減少となりました。

(イ) 建設改良

本年度は、施設の改良工事等に総額で453,600円（うち消費税及び地方消費税33,600円）を支出しました。

(ウ) 経理の状況（消費税及び地方消費税抜き）

平成29年度の収益的収支は、収入総額 521,784,689円、支出総額 465,598,894円で、差引き 56,185,795円の純利益となりました。

なお営業外費用中、企業債利息 77,035,121円の財源にあてるため、未売水企業債利息債 14,200,000円を借り入れました。

当年度における収支の状況は次のとおりです。

収益的収支	収入総額	521,784,689円
（消費税及び地方消費税抜き）	支出総額	465,598,894円
	差引利益額	56,185,795円
資本的収支	収入総額	256,580,032円
（消費税及び地方消費税込み）	支出総額	543,687,509円
	差引不足額	287,107,477円

資本的収支の不足額 287,107,477円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 639,698円、過年度分損益勘定留保資金 166,353,738円、当年度分損益勘定留保資金 120,114,041円で補てんしました。

平成29年度 公共下水道事業報告書

1. 概 況

(1) 総括事項

昨年度に引き続き、防鹿地区の整備事業を進め、当該地区の一部を供用開始することができました。

一方で、処理人口の減少等に伴う使用料収入の減少傾向がある中で、施設の老朽化が進んでおり、その対策を含め厳しい経営状況が依然として続いています。

そのため、下水処理場やポンプ場等の施設の延命化と維持費の平準化等による中長期的な費用の抑制を図る「下水道長寿命化計画」に基づき、経費の節減等による経営の健全化に引き続き務め、今年度も利益を計上することができました。

今後も、一層の経営の健全化に努めるとともに、安心して生活を営むために不可欠な、快適な生活環境の維持と公共用水域の水質保全に取り組んでいきます。

(ア) 営 業

本年度の有収水量は、2,950,781 m^3 （1日平均 8,084 m^3 ）で、和木町からの受入水量は、1,573,490 m^3 （1日平均 4,311 m^3 ）になりました。

本市では、人口普及率は94.7%に達しており、区域内水洗化率は99.5%で、全国的に見ても高い水準を維持しています。

(イ) 建設改良（消費税及び地方消費税込み）

本年度は、施設の改良工事費に総額で508,808,181円（うち消費税及び地方消費税35,981,707円）を支出しました。

本年度に実施した主な工事は、以下のとおりです。

・大竹下水処理場汚泥処理棟機械設備改築更新工事	170,000,000円
・大竹下水処理場汚泥処理棟電気設備改築更新工事	89,900,720円

(ウ) 経理の状況（消費税及び地方消費税抜き）

平成29年度の収益的収支は、収入総額 921,016,895円、支出総額 856,648,441円で、差引き 64,368,454円の純利益となりました。

当年度における収支の状況は次のとおりです。

収益的収支	収入総額	921,016,895円
（消費税及び地方消費税抜き）	支出総額	856,648,441円
	差引利益額	64,368,454円

資本的収支	収入総額	543,680,439円
（消費税及び地方消費税込み）	支出総額	774,295,960円
	差引不足額	230,615,521円

資本的収支の不足額 230,615,521円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 13,886,246円、過年度分損益勘定留保資金149,098,182円、当年度分損益勘定留保資金 67,631,093円で補てんしました。